

&lt;報道資料&gt;

2015年3月4日

## 45種類190本の桜の下で地域の方と連携・交流 跡見学園女子大学「桜まつり」開催

～香席や百人一首かるた体験など参加型企画を実施～

2015年3月28日(土) 10:30～14:30

跡見学園女子大学 新座キャンパス (入場無料)

&lt;大学一般開放:3月1日(日)～5月15日(金)まで&gt;

跡見学園女子大学(文京キャンパス:東京都文京区大塚1-5-2/新座キャンパス:埼玉県新座市中野1-9-6)は、2015年3月28日(土)に新座キャンパスにて、春の恒例イベント「桜まつり」(入場無料)を開催します。

本学では、学園のシンボルである『桜』にまつわるイベントとして毎年「桜まつり」を開催しており、今年で10回目を迎えます。本学の桜コレクションはその種類の多さが特徴で、開学当初の1965年(昭和40年)に京都から取り寄せたものを含めて45種190本の桜が3月から4月にかけて咲きます。「桜まつり」開催時期には「江戸彼岸」や「大寒桜」、「河津桜」などをご覧いただけます。

当日、グラウンドでは学生・卒業生による模擬店や、地域の方による地元の野菜・お菓子の販売などを行います。屋内では跡見ウィンドオーケストラ部による演奏の他、来場者参加型の企画として、香りを記憶して遊ぶ香席「桜香」や、折り紙などを使って桜モチーフの作品を作るワークショップなどを実施。また、万葉集をモチーフにした「万葉かるた」と「小倉百人一首」を用いたかるた体験を今回初めて開催します。その他、花簾記念資料館では本学創設者であり日本画家・書家であった跡見花簾作品の展示も予定しています。

なお、当日は受験生向けのオープンキャンパスも同時開催し、個別の「入試相談」や在校生が学内を案内する「キャンパスツアー」、専任教員による「模擬授業」などを通して、本学の学びを深くご理解いただけます。

3月1日(日)から5月15日(金)までの期間には、新座キャンパスを地域の皆さまに一般開放し、品種によって開花時期が異なる桜を長期間に渡りお楽しみいただけます。桃色の美しい「染井吉野」はもちろん、珍しい色の花を咲かせる「白雪」(純白)、「御衣黄」(黄緑)、「鬱金」(淡黄)、「紅南殿」(濃紅紫)や、三百枚もの花びらをつける「兼六園菊桜」、鮮烈に香る「駿河台匂」など、様々な色形の桜に出会えます。(ご来校の方にはもちろん、「構内サクラガイド」をプレゼントします。)



&lt;淡黄色からピンク色に変わる「鬱金」&gt;



&lt;例年の桜まつりの様子&gt;



&lt;香席の様子&gt;

◆大学に関するお問合せ先◆

跡見学園女子大学広報 TEL:048-478-3333

# 跡見学園女子大学「桜まつり」開催概要

■名称: 「桜まつり」 \* 入場無料

■開催日時: 2015年3月28日(土) 10:30~14:30  
オープンキャンパス同日開催 10:00~15:00  
\* 雨天決行、荒天の場合は屋内にて開催します。

桜鑑賞の一般開放は3月1日(日)~5月15日(金) 9:00~16:00  
但し、3月18日(水)(卒業式)・4月3日(金)(入学式)は除きます。  
飲食物等の持込は禁止とさせていただきます。

■会場: 跡見学園女子大学 新座キャンパス(埼玉県新座市中野1-9-6)

■交通: ・東武東上線「志木駅」南口より  
「跡見女子大行」「所沢駅東口行」西武バス約15分「跡見女子大」下車  
・JR 武蔵野線「新座駅」北口より大学バス約7分  
・西武線「所沢駅」東口より「志木駅南口行」西武バス約25分「跡見女子大」下車

■お問合せ: 跡見学園女子大学庶務課 TEL: 048-478-3333

■参加型企画: ①かるた体験 (予約不要・無料)

場所: 図書館 随時開催

内容: 万葉集をモチーフにした「万葉かるた」と、「小倉百人一首」のかるた取り体験。

創立者の跡見花溪が私塾を開いた京都で小倉百人一首が生まれた縁で、1968年から百人一首関連の資料を収集開始し、現在コレクション数は国内有数の約3000点にのびります。今回はその一部を体験していただきます。

②香席「桜香」(予約不要・無料)

場所: 1号館2階 和室

時間: 12:00~/13:00~/14:00~ 各回 約40分(全3回)

人数: 各回15名

内容: 「桜花咲にけらしもあしびきの山の峽より見ゆる白雲」(紀貫之『古今和歌集』)という和歌にちなみ創られた組香で、学生が香元となり3つの香を嗅ぎ分ける遊びを体験。

③桜のクラフトワークのワークショップ (予約不要・無料)

場所: 図書館 随時開催

内容: 折り紙を使って桜モチーフの作品作り。(作品はお持ち帰りいただけます)

■歴史: 本学校章にも使用される桜は跡見学園のシンボルであり、新座キャンパス内には現在45種190本の桜が植樹されています。この桜は桜守として知られる、京都の佐野藤右衛門氏の桜苗園から、開学当初の1965年(昭和40年)に卒業生のご家族が取り寄せ、寄贈して下さったことに始まります。日本から海外へ寄贈されて今も見事に花を開かせているフィレンツェ市の桜、パリ・ユネスコ本部の桜と兄弟関係にある由緒ある桜です。本学の桜は山桜が最も多く、50mの山桜の並木道は、圧巻です。中でも、佐野藤右衛門氏ゆかりの桜である「佐野桜」や「枝垂桜」など、毎年3月末から4月末にかけて様々な桜が花をつけた学内は、彩り豊かな壮観な光景となります。



<50mの桜並木が満開の様子>